

経済産業省の取組

2022年12月7日

経済産業政策局経済社会政策室

令和4年度なでしこ銘柄事業について

- なでしこ銘柄は、平成24年度より、経済産業省と東京証券取引所が共同で実施。過去10回選定。
- 「女性活躍推進」に優れた上場企業を、「中長期の企業価値向上」を重視する魅力ある銘柄として選定。企業の女性活躍への取組に対する投資家の注目を高めることで、各社の取組の加速化を図る。
- 11回目となる今年度は、銘柄選定に係る調査票・選定プロセス・基準の大幅な変更を実施。

■ 選定の概要

- ✓ 調査開始時点でプライム市場・スタンダード市場・グロース市場に上場している全ての企業が対象。
- ✓ 選定企業数は20社程度。
(TOPIXの17分類で各業種1枠程度)
- ✓ 定量調査票と定性調査票の2種類の調査票で評価。

■ 今後のスケジュール

日時	プロセス
令和4年10月14日 ～11月17日	なでしこ銘柄応募受付期間
令和4年11月 ～令和5年2月	審査期間
令和5年2月下旬 ～3月上旬	選定企業決定
令和5年3月下旬	選定企業公表

■ 調査票

定量調査票項目 ※一部項目を除き公表

1	役員等における女性の活躍状況
2	会社全体における女性の活躍状況
3	両立支援の状況
4	経年変化
5	その他（法令遵守状況・行動計画の有無・女性活躍推進企業データベースにおける女性管理職比率の開示）

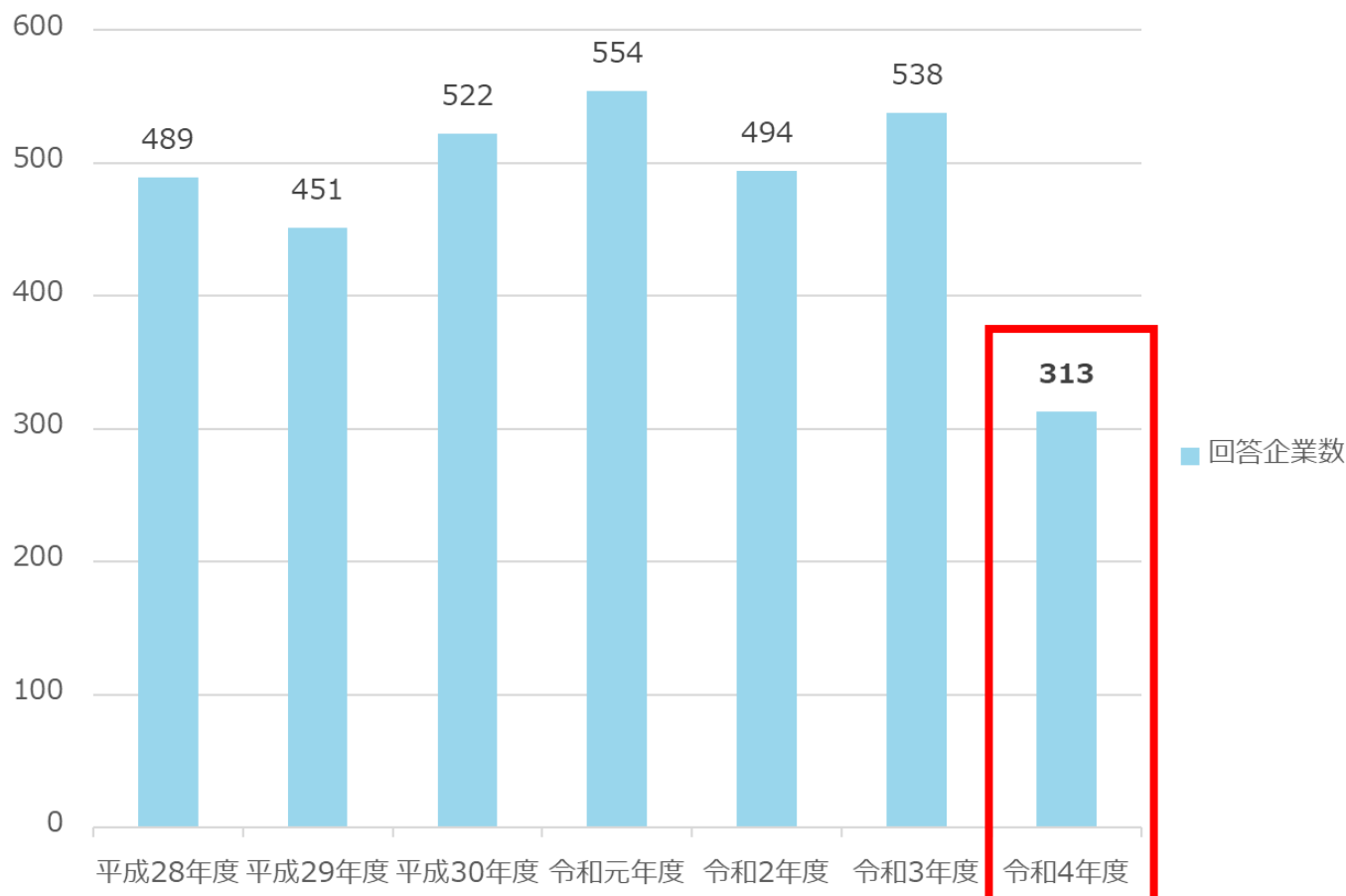
定性調査票項目 ※選定企業のみ公表

1	女性活躍推進と経営戦略との関係
2	女性活躍推進に係る取組の推移やその状況変化
3	企業価値向上への寄与
4	女性活躍推進についての情報開示の考え方と状況

令和4年度までしこ銘柄事業の応募状況について

- 今年度の応募企業は313社。また、昨年度応募企業のうち、今年度もご応募いただいた企業は約250社。
- 今回のリニューアルで新たに追加となった定性調査票については、項目・内容につき、改めて社内で検討するいい機会になったという声があった一方、記載内容の難易度の高さや、上層部までの確認のための時間が足りなかったとの声も。

■ なでしこ銘柄の応募企業数と回答率の変遷



企業横断型メンタリング効果検証プログラム

企業を超えたメンタリングプログラムにより、女性の昇進意欲向上やリーダーシップ向上への後押しを目指す。さらに、メンターとなる役員側の意識改革も図る。令和4年度は小規模で試行的に実施し、効果及び課題を洗い出す。

【メンタリングの実施】

各企業における女性リーダー昇進パイプライン構築を目的に、業種横断のメンタリングプログラムを試行的に実施する。企業の取締役・執行役員がメンターとなり、他業種他社のメンティー（部長級／課長級）に対して、期間内数回のメンタリングを実施する。

【講義の実施、人事部への事例共有】

メンティーに対し、昇進に必要なスキル習得を目的とした講師からのインプットを行うことを検討。さらに、参加企業の取り組み事例等を参加企業同士で共有。

